



旭川医科大学病院の出生前診断外来について

2023年2月版

旭川医科大学病院では、臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラー®・出生前コンサルト小児科医・産婦人科専門医による遺伝カウンセリングを行い、出生前診断を行っています。初回の遺伝カウンセリングは約1時間(約11000円)でカップル(ご夫婦、パートナー)での受診が必要です。

当院ではNIPT(新型出生前診断)、**超音波検査**(NT計測、初期胎児スクリーニング、胎児ドックと呼ばれるもの)、**羊水検査**を行っています。遺伝カウンセリング後に出生前診断を行うのかどうか、行うならばどの検査を行うのかをカップルで相談していただき、検査を行います。(当院では、35歳未満の方はNIPTの陽性的中率が低いため、NIPTではなく超音波検査をおすすめしています)

※当院は日本医学会の「出生前検査認証制度」のNIPT施設認証をうけた**基幹施設**です。

※超音波検査は英国のFetal Medicine Foundation(FMF)の認定資格を持つ医師が担当します。



NIPTの特徴

(新型出生前診断)

(検査費用:約99000円)

妊娠10-13週に採血をします

21トリソミー、18トリソミー、13トリソミーの児を妊娠しているか、**陰性/陽性/判定保留**、で結果が出ます

結果が出るまで約2週間かかります

初回の遺伝カウンセリングと結果開示はカップルで受診していただく必要があります(妊婦さんは採血もあるので3回の受診が必要です)

陽性的場合、確定診断のために羊水検査が必要になります

超音波検査の特徴



(検査費用:約16500円)

妊娠12-13週にお腹から超音波検査をします
21トリソミー、18トリソミー、13トリソミーの児を妊娠している**確率**を計算します

検査に時間がかかる場合があります(通常は30分程度、長いと60-90分)

検査が終わり次第、**当日に結果**をお伝えします(遺伝カウンセリングと同日に検査を希望される場合は検査の事前予約が必要です。予約をしていない場合は検査は後日になる場合があります)

確率が高いと判断される場合は、確定診断のために羊水検査が必要になります

羊水検査の特徴



(検査費用:約75000円)

赤ちゃんに染色体疾患があるかどうかを調べる、**確定検査**です

お腹に針を刺す、侵襲的な検査です。

結果がでるまで約3週間(妊娠19週頃)かかります

妊娠16週台に外来で行います(月・水・金の午後に行うことが多いです)

初回の遺伝カウンセリングと結果開示はカップルで受診していただく必要があります(妊婦さんは羊水検査があるので3回の受診が必要です)

出生前遺伝カウンセリング外来:毎週木曜日(13:00~、14:15~、15:30~) **NIPT・羊水検査の結果開示:**毎週木曜日(15:30~、16:00~、16:30~)

※超音波検査を遺伝カウンセリングと同じ日に行いたい場合は、事前に予約が必要です。その場合は他の曜日に遺伝カウンセリングと超音波検査を行います。

詳しい説明が聞きたい場合や出生前診断を受けたい場合は、**分娩予定日が決まり次第**、主治医を通じて遺伝カウンセリング(約1時間)を予約し、カップルで受診してください。妊娠13週までのうちに受診していただくと検査の選択肢が広がります。

※カップルで受診できない場合、多胎妊娠の場合は当院では出生前診断を行う事ができません。